

発達障害者への ロボットを用いた支援の可能性

講師からのメッセージ

ロボット技術は目覚ましい進歩を遂げている。発達障害の領域で、ロボットを用いた支援の社会実装研究は行われている。発達障害者にロボットが使用されている理由にロボットへの親和性がある。すなわち発達障害者は複雑な情報処理が苦手な中で、ロボットはヒトと比べてシンプルな外見を呈すること、ASD者は変化への対応が苦手な中で、ロボットはメカニカルな動作、すなわち繰り返し同じ動きが可能で、動きに制限があることが主な要因として挙げられる。演者は現在まで本領域を世界的に先導してきた。

本講演では世界各国で行われている研究を概説したうえで、現在まで演者自身が行ってきた研究についても紹介し、発達障害支援におけるロボット開発の現状、今後の課題について講演する。



熊崎博一先生のプロフィール

平成16年3月慶應義塾大学医学部卒業。平成28年4月より米国ヴァンダービルト大学小児科部門に留学。翌年6月帰国。平成31年4月より国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部児童・青年期精神保健研究室室長。令和4年4月より長崎大学大学院医歯薬学総合研究科未来メンタルヘルス学分野教授兼長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部部長。令和5年4月より長崎大学医学部精神神経学主任教授兼長崎大学病院精神科神経科診療科長。6月より長崎県基幹型認知症疾患医療センター長。

2024年 **11月9日** (土)

14:00～15:30 (開場13:30)

*講演終了後20分程度総会を行います。

長崎原爆資料館ホール (長崎市平野町7-8)

長崎大学医学部精神神経学主任教授

熊崎 博一 先生

参加費 **無料**

*事前申込みは不要(当日先着順)



主催 **医療と福祉を考える長崎懇談会**

ホームページ

連絡先) 長崎県保険医協会 長崎市恵美須町2-3-2F
TEL 095-825-3829/FAX 095-825-3893
E-Mail: nagasaki-hok@doc-net.or.jp

